資料２

地域DX推進ラボの在り方等に関する検討会について

令和４年２月１日
経済産業省 情報技術利用促進課

１．背景・趣旨

経済産業省及び独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、IoT・ビッグデータ・AI 等の先進技術を活用して効率的かつ効果的に地域課題の解決を図るとともに、地方の経済発展を推進する取組を支援するべく、平成２８年６月に「地方版 IoT 推進ラボ 」を制度化し、これまでに全国１０５地域の取組を選定・支援してきたが、選定件数は鈍化傾向にある。

我が国が目指す未来社会「Society5.0」の時代においては、デジタル技術等を地域社会全体に普及・浸透させ、個社単位に限らず地域社会全体で DX を実現することが期待されており、既に一部の地域においては DX 実現に向けた各種戦略・計画等の策定が進んでおり、地域における機運が高まり始めている。

このような状況を踏まえ、経済産業省及び IPA は、各地域の DX 実現に向けた取組を加速させるため、新たに「地域 DX 推進ラボ」の制度化を検討しており、本検討会ではその在り方等について議論する。

２．論点

本検討会では、下記５事項について議論を行う。

① 地域 DX 推進ラボの定義・対象
② 選定要件・基準
③ 移行期間を設けることの是非、有効性の有無
④ 移行にかかる適切な期間
⑤ 移行に際しての手続き

３．開催スケジュール案

回	開催時期	議事（予定）
第１回	２月１日（火） 【本日】	１．開会 ２．委員自己紹介 ３．事務局説明 ４．自由討議 ５．閉会
第２回	２月２４日（木）	１．開会 ２．事務局説明 ３．自由討議 ４．閉会

４．会議の運営等

○　検討会は、原則オンライン開催とする。
○　検討会は、個別の企業等に関する内容に言及されることが想定されるため、原則として議事は非公開とする。
○　検討会の配布資料は、原則公開する。
○　議事要旨については、会議後速やかに作成し、原則として公開する。

以上